



# 広報 **えびな**

編集・発行 海老名市役所 市長室  
〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬 175 番地の1  
☎(046) 231・2111(代) ㊚(046) 233・9118  
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。  
☎ 同センター (☎292・0303)



▲第20回全国消防操法大会での第14分団 (同分団提供)

## あなたの力を **消防団へ**



### 第14分団 (門沢橋地区) 分団長・今井秀和さんにインタビュー



37歳。自身の職業は農業。カーネーションを生産しています。活動に制限はありません。残業や出張もある

私が属する第14分団は、現在分団員15人。5人がサラリーマン、残りは自営業です。平均年齢は34歳。各自仕事をしています。活動に参加できるのは限られていません。残業や出張もある

#### 仕事をしながら活動

第14分団は、7月、「第45回神奈川県消防操法大会」ポンプ車操法の部で最優秀賞を獲得し、10月兵庫県三木市で開催の「第20回全国消防操法大会」に県代表として出場。分団長の今井秀和さんにお話を聞きました。

#### 消防団はこんなあつまり！ 地域防災に自分の力出せる 仲間づくりができる

消防団という、しぎたりがあり、先輩には服従というイメージが強いようですね。確かに組織で動きますから、活動中は規律を重んじます。しかし一方で、意見交換は先輩後輩関係なく、積極的にやっています。お互い熱くなってしまうこともあるけれど、徹底的に話し合うことで、技術力が上がり、きずなも深まります。今年の県大会で最優秀賞を勝ち取れたのも、訓練を通じて築かれた、きずなのおかげです。

地域の消防・防災のリーダーとして、自分の力を出しながら、貴重な体験と大切な仲間ができる。消防団はそんな場所だと思う。ゼミンバーに加わってほしいと思います。少しでも興味があれば、まずは一歩踏み出して、仲間の中でのいる体感してみてください。私たち分団員も、どんどん新しい空気を取り込んで、さらに進化していきたいと思っています。

#### まずは輪の中で体感してみてください

※消防操法大会：国の「消防操法の基準」により定められた、消防用機器の取り扱い・操作方の習熟度などを競う大会。

消防団員は、地域防災のリーダーです。「自分たちのまちは自分たちで守る」の気持ちがあれば、一員になれます。あなたも参加しませんか。

#### 消防団は市の消防機関

消防団は、市の消防機関の一つです。海老名市では1消防団を設置し、その傘下に15の分団が配置されています。現在200人を超える分団員が地域で活躍中です。

#### 地方公務員として身分を保障

団員は、地域の消防・防災のリーダーとして、地方公務員(非常勤特別職)の身分が保障されます。自営業・サラリーマンの区別なく、本業を持ちながら、活動できます。

#### 報酬などを支給、補償制度あり

被服貸与、報酬支給。災害活動中のけがなどに対しては、補償制度を適用。一定期間、団員として活動した方は、退団の際、退職報償金が支給されます。

#### 消防・防災の最前線で活動

活動内容は、おおむね以下のとおりです。  
◇災害の場合…消火活動、救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導  
◇平常時…消火訓練、消火栓・防火水槽の点検、防火啓発活動、特別警戒

#### 18歳以上ならどなたでも応募できます

対象は、市内在住・在勤の18歳以上の健康な方。所属する分団は、原則として居住または勤務する地域の分団です。

お問い合わせは  
お近くの消防分団または消防本部(☎231・0355)へ